

# 山口県柳井市におけるタガメの採集記録

佐伯 英人

「山口県の自然」第83号（2023年3月）別刷

山 口 県 立 山 口 博 物 館

## 山口県柳井市におけるタガメの採集記録

佐伯 英人<sup>1)</sup>

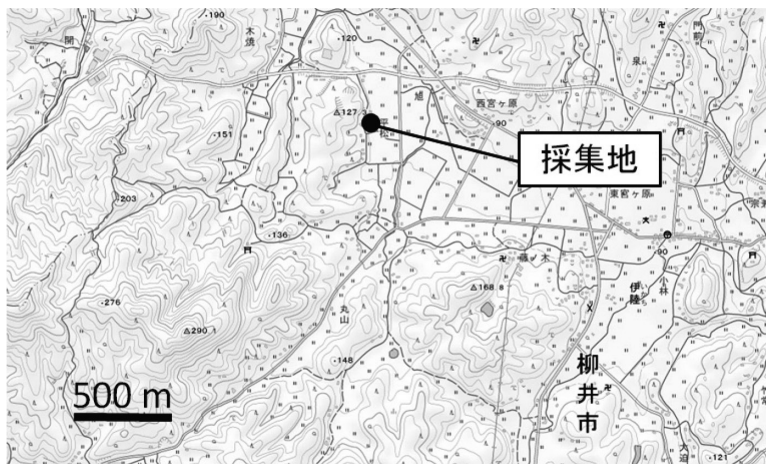
### 1. はじめに

タガメ *Kirkaldyia deyrolli* (*Lethocerus deyrolli*) は、カメムシ目コオイムシ科に属する昆虫である。『レッドデータブックやまぐち 2019 山口県の絶滅のおそれのある野生生物』において、本種は「絶滅危惧 II 類 (VU)」(p.261) として掲載されている。「選定理由」として「かつては池沼、水田などの水際部に多数生息していたが、開発に伴う整備や農薬の使用などにより激減した。近年における山口県内での確認記録は増えているものの、数年は経緯を見る必要はある。」(p.324) と示されており、また、「減少等の要因」として「農薬散布による田圃等の水域環境の悪化。近年回復しつつある。」(p.324) と示されている(山口県環境生活部自然保護課, 2019)。

### 2. 採集記録

2022年5月5日、山口県柳井市伊陸(北緯34度2分0秒, 東経132度5分44秒, 標高90m)において、本種1個体(雌)を森戸改治氏(山口県立高森高等学校非常勤講師)が採集した。採集地を図1に示す。図2、図3は採集地のようす(撮影日: 2022年5月14日, 撮影者: 森戸幹氏(周南市立富田西小学校教諭))である。

2022年5月15日、採集した個体は生きていた状態で筆者の研究室に持ち込まれた。筆者が固定し、標本(乾燥標本)にした。図4は生体のようす(撮影日: 2022年5月23日, 撮影者: 筆者)、図5は標本(撮影者: 筆者)である。現在、標本は山口県立山口博物館で保管・展示されている。



(国土地理院発行の電子地形図(タイル)を使用)

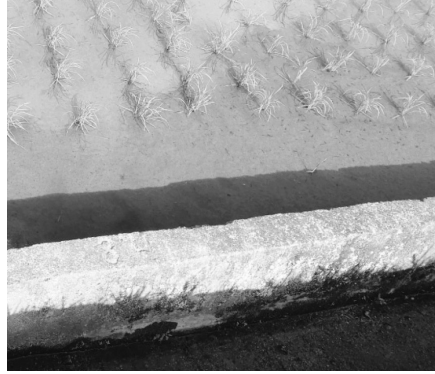
図1 採集地

1) SAIKI, Hideto 〒753-8513 山口市吉田 1677-1 山口大学教育学部



(撮影日：2022年5月14日)

図2 採集地のようす



(撮影日：2022年5月14日)

図3 採集地のようす



(撮影日：2022年5月23日)

図4 採集した個体 (生体)



目盛り：1 mm

図5 採集した個体 (標本)

### 3. 考察

山口県における本種の確認記録について以下に示す。

本種について、田中（2011）では「徳山市須々万（小西，1991），徳山市菅野ダム（池田，1991）以降の採集記録は見当たらない。」（p.117）と示されており、また、徳永・上尾・田中（2011）では「近年県内では報告事例がなく（後略）」（p.37）と示されている。

2008年以降の本種の確認記録を表1に示す。本種の確認記録がみられた雑誌は『山口のむし』、『山口県の自然』、『科学センター収録』であった。表1では雑誌の発行年順に整理し、地名は雑誌に示されていた表記をそのまま用いた。

表1をみると、2008年以降の本種の確認記録は、岩国市において15件、周南市において3件、柳井市において1件あり、山口県の東部地域において散見されることが分かる。このことは、後藤・管（2018）においても「ここ数年間の動向を見ても、岩国市を中心とした県東部地域には生息区域が、着実に増加していることは間違いのない事実である。」（p.176）と示されている。

上記のとおり、これまでに柳井市における確認記録は1件（田中，2012b）である。そのため、本報告は、柳井市における再発見といえる。

表1 タガメの確認記録（2008年以降）

著者（発行年）	地名	確認日
徳永・上尾・田中（2011）	岩国市	2010年8月22日
田中（2012a）	岩国市	2009年9月5日
田中（2012b）	柳井市	2010年7月20日 2011年7月21日
稲田（2012）	岩国市美和町長谷	2008年7月30日
稲田（2013）	岩国市周東町差川	2012年6月4日
	岩国市南河内竹安	2012年7月6日
	岩国市南岩国町	2012年7月7日
	岩国市周東町祖生	2012年7月16日
	岩国市美和町長谷	2012年7月27日 2012年9月20日
	岩国市大山	2012年9月10日 2012年9月26日
田島（2014）	周南市八代	2012年6月（中旬） 2012年8月10日 2013年8月7日
辻（2015）	岩国市保木	2014年7月14日 2014年7月23日
	岩国市錦町中ノ瀬	2014年9月9日
岩国市科学センター（2015）	岩国市二鹿	2014年7月19日
伊ヶ崎（2015）	周南市熊毛八代	2014年9月13日
後藤・管（2018）	岩国市周東町樋余地	2017年8月22日
		2017年9月13日
		2017年10月10日
重中（2018）	岩国市由宇町	2017年6月30日
		2017年7月20日
相本（2018）	周南市八代	2017年8月5日
後藤・五味（2019）	岩国市周東町樋余地	2018年9月17日

地名：雑誌に示されていた表記

#### 4. おわりに

前述したように2008年以降、本種の確認記録は山口県の東部地域において散見される。しかし、その他の地域における本種の生息状況は不明である。今後、山口県の西部地域、中部地域、北部地域において調査を行い、生息状況を明らかにしていきたい。

#### 付記

表1に示した岩国市科学センター（2015）の確認記録（p.29）について補足説明をする。岩国市二鹿において2014年7月19日に確認された個体は1個体であり、幼虫であった。この個体は、筆者が採集し、標本（乾燥標本）にした。現在、標本は岩国市科学センターで保管・展示されている。

## 文献

- 相本篤志 (2018) 「2017年に山口県内で確認した水生昆虫類」, 『山口のむし』, 第17号, pp.184-190.
- 伊ヶ崎伸彦 (2015) 「山口県で確認したカメムシ類 (2012年～2014年)」, 『山口のむし』, 第14号, pp.127-128.
- 稲田博夫 (2012) 「タガメ岩国市での確認例」, 『山口のむし』, 第11号, p.132.
- 稲田博夫 (2013) 「岩国市のタガメ確認例 (2012)」, 『山口のむし』, 第12号, p.106.
- 岩国市科学センター (2015) 『科学センター収録 (第57集)』, 岩国市科学センター.
- 後藤和夫・五味清 (2019) 「岩国市周東町の水生昆虫類について」, 『山口のむし』, 第18号, p.146.
- 後藤和夫・管哲郎 (2018) 「山口県東部地方のタガメの新産地と若干の考察」, 『山口のむし』, 第17号, p.176.
- 重中良之 (2018) 「岩国市沿岸部におけるコオイムシ科2種の記録」, 『山口のむし』, 第17号, p.177.
- 田島実 (2014) 「周南市八代のタガメ」, 『山口のむし』, 第13号, p.107.
- 田中馨 (2011) 「山口県産カメムシ (半翅目) の記録」, 『山口のむし』, 第10号, pp.116 - 127.
- 田中星丞 (2012a) 「タガメの飼育と観察」, 『山口県の自然』, 第72号, pp.1 - 6.
- 田中星丞 (2012b) 「柳井市で発見したタガメ」, 『山口県の自然』, 第72号, pp.7 - 8.
- 辻雄介 (2015) 「岩国市で採集したタガメの記録」, 『山口のむし』, 第14号, p.130.
- 徳永浩之・上尾庸子・田中劉星 (2011) 「岩国市で発見されたタガメの幼虫」, 『山口県の自然』, 第71号, p.37.
- 山口県環境生活部自然保護課 (2019) 『レッドデータブックやまぐち 2019 山口県の絶滅のおそれのある野生生物』 Retrieved from <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/53757.pdf>